



# 白鶴梁

## 題刻文獻彙集校註

白鶴梁是位于長江上游重慶市涪陵區城區長江邊的一道天然石梁。梁上刻有近兩百段題刻，記錄了自唐代廣德年間以來，因長江水位下降而白鶴梁上所鐫刻的石魚露出水面的情況，實為長江枯水記錄。

● 王曉暉 彙註

# 白鶴梁

## 題刻文獻彙集校註

白鶴梁是位于長江上游重慶市涪陵區城區長江邊的一道天然石梁。

梁上刻有近兩百段題刻，

記錄了自唐代廣德年間以來，

因長江水位下降而白鶴梁上所鐫刻的石魚露出水面的情況，

實為長江枯水記錄。

● 王曉暉 彙註



天津出版傳媒集團

天津古籍出版社

## 圖書在版編目 ( C I P ) 數據

白鶴梁題刻文獻彙集校註 / 王曉暉彙註. — 天津 :  
天津古籍出版社, 2015.12

ISBN 978-7-5528-0373-0

I. ①白… II. ①王… III. ①碑刻—彙編—涪陵區  
IV. ①K877.49

中國版本圖書館CIP數據核字(2015)第296929號

## 白鶴梁題刻文獻彙集校註

- 出版人 張 璋  
作 者 王曉暉  
責任編輯 門 輝  
裝幀設計 劉苒舒  
出版發行 天津古籍出版社 ( <http://www.tjabc.net> )  
地址: 天津市和平區西康路35號  
郵編: 300051
- 經 銷 全國新華書店  
印 刷 三河市中晟雅豪印務有限公司  
版 次 2015年12月第1版  
印 次 2015年12月第1次印刷  
規 格 16開 ( 787 × 1092 毫米 )  
字 數 300千字  
印 張 14  
定 價 90.00圓

國家古籍整理出版專項經費資助項目  
全國高校古籍整理研究工作委員會古籍整理研究直接資助項目  
長江師範學院科研創新平台建設資助項目

## 自序

白鶴梁，是位於長江上游重慶市涪陵區城區長江邊的一道天然石梁。白鶴梁全長約一千六百米，寬約十至十五米，距離長江南岸約一百米，距離長江北岸約四百米，自西向東延伸，呈一字形，與江流平行，止于長江與烏江交匯處。由於三峽大壩蓄水，白鶴梁不再露出水面，只有從白鶴梁水下博物館纔能看到石梁的一部分。

在白鶴梁上，有自唐代以來的題刻文獻近兩百段，除文字外，還有石魚十二尾、觀音像一尊、白鶴圖一幅。1980年，白鶴梁成為四川省重點文物保護單位，1988年，成為全國重點文物保護單位。

關於白鶴梁名稱的來由和演變，歷代史書多有記載，酈道元的《水經注》載：“白鶴灘，爾朱真人修煉於此，後成仙而去。”祝穆《方輿勝覽》也記載：“州西一里白鶴灘，爾朱真人沖舉之處。”可見，早期名稱為“白鶴灘”，蓋由於常有白鶴落於石梁上休息而得名，同時結合了民間傳說，認為是北魏時道士爾朱通微乘鶴化仙而去的地方。而在北宋樂史的《太平寰宇記》中，則無白鶴灘之名，只是記載：“開寶四年，黔南上言：江心有石魚見，上有古記云：廣德元年二月，大江水退，石魚見……”這與白鶴梁上《謝昌瑜題記》內容幾乎一樣。南宋王象之的《輿地紀勝》也記載：“在涪陵縣下，江心有雙

魚，刻石上……”直至清光緒七年（1881），秦州人孫海在石梁上鐫刻“白鶴梁”。

白鶴梁上近兩百段題刻，據記載所見，始于唐代，廣德、大和、大順年間均有，但已無迹可尋。主要為宋代題刻，此外元、明、清、中華民國、中華人民共和國時期各有若干段，還有部分年代不詳。這些題刻，大者兩米見方，小者不足一平方尺，文字多者達二三百字，少者不足十個字。

題刻主要記錄了自唐代廣德以來，因長江水位下降而白鶴梁上所鐫刻的石魚露出水面的情況，實為長江枯水記錄。題刻中有枯水水文價值的一百余段，記錄了歷史上七十餘個年份的枯水水位。由此可見自廣德年間以來千餘年長江枯水水位統計和枯水現象發生的周期，對古代相關地區農業生產、長江航運等提供了有利的指導，也為今天長江水利、水電、航運及周邊地區農業發展提供了可靠的科學依據。

## 凡 例

一、對題刻文獻內容中的個別字詞，不再探討前賢著作中的是與非，直接將筆者辨識、判斷的文字錄出。

二、遵循文獻校錄的基本規範，凡缺字之處，用“□”表示。

三、題刻文獻的排序，基本按照年代順序排列，同一年則按照月份排列先後，同一月則按照日期先後排列。

四、同一人名、地名或其他專有名詞，在首次出現時進行詳細解釋，以後出現均不再贅述，只註明其首次出現的題刻名稱。

五、本書引用已刊佈原始資料較多，結合現代以來各圖錄本，引述各資料豐富的主要文獻論著略語與全稱對照如下：

1. 《所見錄》，（清）姚覲元：《涪州石魚文字所見錄》，《石刻史料新編》（第三輯一五），臺北新文豐出版公司印行 1986 年版。

2. 《同治涪州志》，呂紹衣、王應元等修纂：《同治重修涪州志》，《中國地方志集成·四川府縣志輯》（第 46 輯）影印同治九年（1870 年）刻本，巴蜀書社 1992 年版。（〔清〕王應元：《涪州碑記目》《石刻史料新編》〔第三輯一五〕，臺北新文豐出版公司印行，1986 年，即出自於本志。）

3. 《石魚題刻》，（清）錢保塘：《涪州石魚題刻》，《石刻史料新編》（第三輯一五），臺北新文豐出版公司印行 1986 年版。

4. 《金石補正》，（清）陸增祥：《八瓊室金石補正》，文物出版社 1985 年版。

5. 《水下博物館》，陳曦震、陳之涵：《中國長江水下博物館：白鶴梁題刻》，重慶出版社 2003 年版。

6. 《水下碑林》，陳曦震主編：《水下碑林——白鶴梁》，四川人民出版

社 1995 年版。

7. 《水文站》，政協四川工委編《世界第一古代水文站——白鶴梁》，中國三峽出版社 1995 年版。

8. 《文物圖集》，水利部長江水利委員會《長江三峽工程水庫水文題刻文物圖集》，科學出版社 1996 年版。

9. 《三峽國寶》，曾超《三峽國寶——白鶴梁題刻匯錄與考索》，中國文史出版社 2005 年版。

10. 《西南石刻》，重慶市博物館編《中國西南地區歷代石刻匯編·四川重慶卷》，天津古籍出版社 1998 年版。

11. 《貴博》，貴州省博物館藏清代拓片，參見何鳳桐的《宋代長江水文題刻實錄》，《貴州文史叢刊》2002 年第 1 期。

12. 《重慶總目》，重慶市第三次文物普查領導小組辦公室編《重慶文物總目續編》，2008 年版。



長江中上游地區古代洪水枯水題刻的文獻價值·····	(一)
---------------------------	-----

### 北宋題刻

謝昌瑜題記 開寶四年 (971) ·····	(一五)
朱昂題詩記 端拱元年 (988) ·····	(一七)
劉忠順等唱和詩 皇祐元年 (1049) ·····	(一九)
武陶遊石魚題名記 嘉祐二年 (1057) ·····	(二一)
劉仲立題記 嘉祐二年 (1057) ·····	(二二)
都儒縣主簿題記 嘉祐八年 (1063) 前 ·····	(二三)
馮君錫題記 治平三年 (1066) ·····	(二三)
徐莊等題記 熙寧元年 (1068) ·····	(二四)
韓震等題記 熙寧七年 (1074) ·····	(二五)
黃覺等題記 熙寧七年 (1074) ·····	(二七)
熙寧水位題記 熙寧七年 (1074) ·····	(二八)
鄭覲題記 元豐八年 (1085) ·····	(二九)
吳縝題記 元豐九年 (1086) ·····	(二九)
□兆思題記 元祐五年 (1090) ·····	(三一)
王珪直等題記 元祐五年 (1090) ·····	(三一)
楊嘉言題記 元祐六年 (1091) ·····	(三二)
姚珏等題記 元祐八年 (1093) ·····	(三三)
涪翁題記 元符三年 (1100) ·····	(三四)
楊元永題記 崇寧元年 (1102) ·····	(三五)

孫義叟等題記	崇寧元年 (1102)	.....	(三八)
太守楊公留題	崇寧元年 (1102)	.....	(三九)
龐恭孫題記	大觀元年 (1107)	.....	(四〇)
王蕃詩並序	政和二年 (1112)	.....	(四二)
蒲蒙亨題記	政和二年 (1112)	.....	(四三)
蒲蒙亨再題	政和二年 (1112)	.....	(四三)
吳革題記	宣和四年 (1122)	.....	(四四)
毋丘兼孺等題記	宣和七年 (1125)	.....	(四六)

### 南宋題刻

陳似題記	建炎三年 (1129)	.....	(五一)
劉公亨等題記	建炎三年 (1129)	.....	(五二)
文悅等題記	建炎三年 (1129)	.....	(五二)
趙子通等觀石魚題名	紹興二年 (1132)	.....	(五四)
何夢與題記	紹興二年 (1132)	.....	(五五)
種慎思題記	紹興二年 (1132)	.....	(五五)
李宜仲等題記	紹興二年 (1132)	.....	(五六)
蔡惇題記	紹興二年 (1132)	.....	(五七)
張宗憲題記	紹興二年 (1132)	.....	(五八)
賈公哲等題記	紹興二年 (1132)	.....	(五九)
蔡興宗等題記	紹興五年 (1135)	.....	(六〇)
宋艾等題記	紹興六年 (1136)	.....	(六〇)
賈思誠等題記	紹興七年 (1137)	.....	(六一)
賈思誠題記	紹興七年 (1137)	.....	(六二)
己未題記	紹興九年 (1139)	.....	(六三)
□居安題記	紹興十年 (1140)	.....	(六三)
孫仁宅題記	紹興十年 (1140)	.....	(六四)
晁公武題記	紹興十年 (1140)	.....	(六六)

馮忠恕等題記	紹興十年 (1140)	.....	(六七)
潘居實等題記	紹興十年 (1140)	.....	(六七)
炎覺先題記	紹興十年 (1140)	.....	(六八)
張仲通等題記	紹興十年 (1140)	.....	(六九)
張宗恣等題記	紹興十年 (1140)	.....	(六九)
張彥中等題記	紹興十年 (1140)	.....	(七〇)
李景享等題記	紹興十三年 (1143)	.....	(七一)
杜肇等題記	紹興十四年 (1144)	.....	(七二)
張瑤等題記	紹興十四年 (1144)	.....	(七三)
李景享等再題	紹興十四年 (1144)	.....	(七三)
晁公遡題記	紹興十五年 (1145)	.....	(七四)
楊譔等題記	紹興十五年 (1145)	.....	(七六)
何憲、盛辛唱和詩並序	紹興十八年 (1148)	.....	(七七)
杜與可等題記	紹興十八年 (1148)	.....	(七八)
鄧子華等題記	紹興十八年 (1148)	.....	(七九)
張綰題記	紹興二十五年 (1155)	.....	(七九)
張綰再題	紹興二十五年 (1155)	.....	(八〇)
張綰三題	紹興二十五年 (1155)	.....	(八〇)
張松兌等題記	紹興二十六年 (1156)	.....	(八一)
盛芹等題記	紹興二十六年 (1156)	.....	(八二)
盛景獻題記	約紹興二十六年 (1156)	.....	(八三)
黃仲武等題記	紹興二十七年 (1157)	.....	(八三)
紹興水位題記	紹興年間	.....	(八四)
宋亢等題記		.....	(八四)
向之問題記	乾道三年 (1167)	.....	(八五)
王桂老題記	乾道三年 (1167)	.....	(八五)
趙彥球題記	乾道三年 (1167)	.....	(八六)
張□□題記	乾道三年 (1167)	.....	(八七)
賈振文題記	乾道三年 (1167)	.....	(八八)

乾道殘題	乾道三年 (1167)	.....	(八九)
盧棠題記	乾道七年 (1171)	.....	(八九)
向仲卿題記	淳熙五年 (1178)	.....	(九〇)
馮和叔題記	淳熙五年 (1178)	.....	(九一)
朱永裔題記	淳熙六年 (1179)	.....	(九二)
夏敏等題記	淳熙十一年 (1184)	.....	(九四)
郭德麟題記	淳熙十六年 (1189)	.....	(九五)
徐嘉言題記	慶元四年 (1198)	.....	(九六)
趙時儼題記	嘉泰二年 (1202)	.....	(九八)
賈復題記	開禧年間 (1205—1207)	.....	(九八)
祿幾復等遊記	嘉定元年 (1208)	.....	(九九)
曹士中題記	嘉定十三年 (1220)	.....	(一〇〇)
寶慶丙戌題刻	寶慶二年 (1226)	.....	(一〇一)
李瑀題記	寶慶二年 (1226)	.....	(一〇一)
李公玉題記	寶慶二年 (1226)	.....	(一〇二)
口鎬星江等題記	紹定年間 (1228—1233)	.....	(一〇三)
齊礪等題記	紹定二年 (1229)	.....	(一〇四)
謝興甫等題記	紹定三年 (1230)	.....	(一〇五)
李可久等題記	嘉熙二年 (1238)	.....	(一〇六)
張霽題記	淳祐三年 (1243)	.....	(一〇六)
王季和等題記	淳祐三年 (1243)	.....	(一一〇)
趙光禧等題記	淳祐三年 (1243)	.....	(一一一)
鄧剛題記	淳祐八年 (1248)	.....	(一一一)
趙汝廩觀石魚詩	淳祐十年 (1250)	.....	(一一二)
劉叔子詩並序	寶祐二年 (1254)	.....	(一一三)
蹇材望和劉叔子詩並序	寶祐二年 (1254)	.....	(一一四)
何震午等題記	寶祐六年 (1258)	.....	(一一六)
徐朝卿等題記	.....	.....	(一一七)
賈承福題記	.....	.....	(一一八)

周品級等題記	(一一八)
傅端卿題記	(一一九)
王漢老題記	(一一九)
董時彥題記	(一二〇)

## 元代題刻

聶文煥題記 至大四年 (1311)	(一二三)
王正題記 天曆二年 (1329)	(一二五)
溧陽留題 至順元年 (1330)	(一二五)
張八歹題記 至順癸酉 (1333)	(一二六)
蒙文題刻	(一二七)

## 明代題刻

劉沖宵詩並序 洪武十七年 (1384)	(一三一)
雷懿題記 永樂三年 (1405)	(一三二)
晏英詩並序 天順三年 (1459)	(一三五)
戴良臣題詩 天順三年 (1459)	(一三五)
姚昌遇題記	(一三六)
張本仁等題記 成化七年 (1471)	(一三七)
李寬觀石魚記 正德元年 (1506)	(一三七)
李書□題記 正德元年 (1506)	(一四〇)
黃壽題詩記 正德五年 (1510)	(一四〇)
張楫和詩 正德五年 (1510)	(一四一)
張楫題詩 正德五年 (1510)	(一四一)
聯句和黃壽詩記 正德五年 (1510)	(一四二)
羅奎題詩 萬曆十七年 (1589)	(一四三)
江應曉題詩 萬曆十七年 (1589)	(一四四)

- 金國祥題詩 萬曆十七年 (1589) ..... (一四五)  
 七叟勝遊題記 天啓七年 (1627) ..... (一四六)

## 清代題刻

- 蕭星拱觀石魚記 康熙二十三年 (1684) ..... (一四九)  
 張天如等鐫石魚志 康熙二十三年 (1684) ..... (一五〇)  
 蕭星拱重鐫雙魚記 康熙二十四年 (1685) ..... (一五一)  
 高應乾題詩 康熙二十四年 (1685) ..... (一五二)  
 預兆年豐題詩 康熙三十四年 (1695) ..... (一五三)  
 董維祺題記 康熙四十五年 (1706) ..... (一五四)  
 羅克昌題詩 乾隆十六年 (1751) ..... (一五五)  
 七律一首 乾隆四十年 (1775) ..... (一五六)  
 王正策題詩 乾隆四十年 (1775) 以後 ..... (一五六)  
 陳廷璠書王士禎詩 乾隆四十五年至道光五年 (1780—1829) ..... (一五七)  
 張師範題詩 嘉慶十八年 (1813) ..... (一五八)  
 張師範題詩 嘉慶二十年 (1815) ..... (一五九)  
 姚覲元題記 光緒元年 (1875) ..... (一五九)  
 許麗生敬摹觀音像題記 光緒二年 (1876) ..... (一六〇)  
 孫海題“白鶴梁” 光緒七年 (1881) ..... (一六一)  
 謝彬題“中流砥柱” 光緒七年 (1881) ..... (一六二)  
 婁標題記 光緒七年 (1881) ..... (一六三)  
 白鶴梁銘 (孫海題記) 光緒七年 (1881) ..... (一六三)  
 濮文昇題記 光緒七年 (1881) ..... (一六五)  
 蔣蘅題記 光緒八年 (1882) ..... (一六七)  
 蔣蘅題記 二 ..... (一六七)  
 范錫朋觀石魚記 宣統元年 (1909) ..... (一六八)  
 佚名題詩 ..... (一六九)

## 中華民國時期題刻

- 施紀雲題記 1915年 ..... (一七三)
- 楊鴻口題記 1924年 ..... (一七四)
- 顏愛博等題記 1931年 ..... (一七五)
- 白鶴時鳴圖 ..... (一七六)
- 劉鏡沅題詩 1937年 ..... (一七六)
- 文德銘題詩記 1937年 ..... (一七七)
- 劉鏡沅題記(二) 1937年 ..... (一七八)
- 何耀萱《白鶴梁記》 1937年 ..... (一七九)
- 劉鎔經《遊白鶴梁》詩 1937年 ..... (一八〇)
- 盧學淵題記 1937年 ..... (一八一)
- 抗戰時期題記 ..... (一八一)
- 李園“世道澄清” 1942年 ..... (一八二)

## 中華人民共和國成立以來題刻

- 林樵題詩 1963年 ..... (一八五)
- 龔堪貴題詩 1963年 ..... (一八六)
- 涪陵縣文化館題記 1963年 ..... (一八六)
- 四川省重點文物保護單位題刻 1980年 ..... (一八七)
- 全國重點文物保護單位題刻 1988年 ..... (一八七)

## 年代不詳題刻

- 傅春遊記 ..... (一九一)
- 高聯石魚詩 ..... (一九一)
- 李從義題記 ..... (一九二)

張拱題詩·····	(一九二)
辛亥殘刻·····	(一九三)
通州觀石魚·····	(一九三)
舒彭松“恒收永年”題刻·····	(一九三)
殘題刻·····	(一九四)
“光企公”題刻·····	(一九四)
中山乙公遊記·····	(一九五)
袁大武等遊記·····	(一九五)
張侍題記·····	(一九六)
“留山”題記·····	(一九六)
“正月中瀚”題記·····	(一九六)
古泉□題詩·····	(一九七)
鄧陽□同遊題記·····	(一九七)
南陽公題刻·····	(一九八)
聯名詩·····	(一九八)
李元□題刻·····	(一九八)
聯句詩·····	(一九九)
參考文獻·····	(二〇〇)



## 長江中上游地區古代洪水枯水題刻的文獻價值

對中國古代水事題刻的研究，尤其在北方地區“水利社會”的研究中已取得豐碩成果；而對於長江中上游地區的題刻研究較多傾向於水位、氣候、災害防治等自然科學領域。對古代時期長江流域洪水枯水的記錄，尤其是洪水及其災害，在歷史典籍中並不缺乏，而存留於長江中上游地區的古洪水枯水題刻，為我們保存了極其有價值的第一手資料。

### 一、洪水枯水題刻基本資料

長江中上游地區發現最早的洪水題刻是宋紹興二十三年（1153），距今八百六十年，最早的枯水題刻至少可追溯到唐廣德二年（764），距今達一千二百餘年<sup>①</sup>。這些具有千年時間的洪枯水資料在國內外是罕見的。從題刻內容來看，描述洪枯水情況有詳有略，大部分題刻有歷史時期洪枯水的水位具體位置及發生時間。一般來看，洪水題刻大多較為簡單，往往在水位最高處刻寫“某年某月某日水漲至此”，或具名，或不具名；枯水題刻往往文字較多，內容豐富。

如忠縣忠州鎮 1153 年洪水題刻“紹興二十三年六月二十七日水此”；又如

<sup>①</sup> 據《巴縣志》金石篇記載：“晁公武豐年碑題記：昭德晁公武，休沐日、率單父張存城、璧山馮時行、通泉李尚書、普慈馮樽，同觀晉唐金石刻。唯唐張萱所稱光武時（25—57 年）題記不可復見矣。”可見，渝中區朝天門靈石，東漢光武帝時期已經有了題刻，但無文字說明其對枯水的記載，其後晉義熙三年（407）《靈石社日記》未見枯水之意，唐天寶十五載（756）張萱靈石碑、乾元三年（760）王昇靈石碑內容亦不得見，因此，只能以白鶴梁所記唐廣德二年（764）為最早。相關記載可參見：（清）王爾鑒《巴縣志》，早稻田大學藏本；（宋）陳思《寶刻叢編》，《歷代碑志叢書》第一冊，江蘇古籍出版社 1998 年出版。